

## 会 議 録

|   |   |
|---|---|
| 会議等名  | 平成30年度第2回富士見市健康づくり審議会   |
| 開催日時  | 平成31年1月17日（木）午後1時30分～3時10分  |
| 開催場所  | 富士見市立健康増進センター 研修室   |
| 出席者名  | <p>委員：小木曾 正勝会長      三木 とみ子副会長      上田 しげ子委員<br/> 久米原 明彦委員      帖地 知穂委員      苗代 明委員<br/> 平塚 俊哉委員      三角 麻子委員      武藤 敦委員<br/> 湯尾 明委員</p> <p>事務局：大森健康福祉部長 望月健康増進センター所長<br/> 山崎健康増進センター副所長 相原健康増進センター副所長<br/> 小林保健予防係長 村井母子保健係長 平介護予防係長<br/> 矢島健康づくり支援係長 渋谷主任 藤田主任 黒田</p> |
| 欠席者名  | <p>委員：大竹 ミイ子委員      奥住 幸江委員      關野 美知子委員<br/> 関根 衣都美委員      吉成 亜紀子委員</p>   |
| 傍聴者   | 1名  |
| 内 容   |   |
| 1 開会  |   |
| 2 会長挨拶  | (小木曾会長からあいさつ)   |
| 3 議題  | (富士見市健康づくり審議会条例 第6条第2項により、委員の過半数の出席があるので、本日の審議会が成立することを報告)  |
| (1) 健康ライフ☆ふじみ（富士見市健康増進計画・食育推進計画）平成29年度取り組み状況について（第3節 健康管理から第5節 歯と口腔の健康まで） |   |
| 議 長   | <p>第3節の健康管理<br/> 1 妊娠期・出産期の健康管理の推進<br/> 第3節の健康管理1 妊娠期・出産期の健康管理の推進について意見を願います。子ども未来応援センターが昨年度開設されたが、以前と比べ何か感じる事はあるか。</p>   |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | 子ども未来応援センターの開設により、全妊婦と保健師の面談が開始となった。妊婦の困っている事やサポート状況、家族状況を早期に把握でき、必要な方への支援がしやすくなった。                                  |
| 委員   | 市の保健師と面談する機会のない、生後2～3カ月の子どもの訪問をしている。特に第1子の母親は分からない事が多いので、訪問して悩みを聞き取り、子ども未来応援センターに繋いでいる。                              |
| 議長   | 全戸訪問なのか。   |
| 委員   | その通りである。   |
| 議長   | 他に意見はあるか。  |
| 委員一同 | (意見なし)   |
|      | <b>2 乳幼児の健康管理の推進</b>   |
| 議長   | 2乳幼児の健康管理の推進について意見をお願いします。乳児健診の受診率を増やすための取り組みはあるか。   |
| 事務局  | 健診会場を健康増進センターに1本化し、乳幼児健診専用のバスを市内2コース出している。都合や体調が悪くて来られない方には、受診勧奨をしている。   |
| 議長   | 幼稚園との連携はどのようにしているか。  |
| 事務局  | 幼稚園の先生から連絡をいただき、健診で発達状況等を確認している。健診に来ない場合は受診勧奨を行う。また、どうしても連絡が取れない場合は、保育課や障がい福祉課と連携を取りながら、幼稚園に状況確認する。                  |
| 議長   | 市と幼稚園の連絡会はないのか。  |
| 事務局  | ない。  |
| 議長   | 他に意見はあるか。  |
| 委員一同 | (意見なし)   |
|      | <b>3 児童生徒の健康管理の推進</b>  |
| 議長   | 3 児童生徒の健康管理の推進について意見をお願いします。   |
| 委員   | 「施策・事業の展開」No45「生命を大切に作る心や健康を気遣い守る心を育みます」についてだが、平成29年度は、一部の学校で助産師による「いのちの授業」が実施された。平成30年度は、全小中学校で実施されることとなり、大変好評であった。 |
| 議長   | 健診で側弯の検査が項目に追加されたが、その結果はいかがか。  |
| 委員   | 学校医が検査するようになったので、運動機能への関心は高まったが、2次検診まで値する児童は少ない。   |
| 議長   | 健診時間が長くなり、大変ではあったが、良いこともあったようだ。他に意見はあるか。   |
| 委員一同 | (意見なし)   |
|      | <b>4 成人・高齢者の健康管理の推進</b>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>議 長<br/>委 員<br/>議 長<br/>委 員<br/>議 長<br/>事務局<br/>議 長<br/>事務局<br/>議 長<br/>委員一同</p> | <p>(1) 健康づくりの推進について</p> <p>4 成人・高齢者の健康管理 (1) 健康づくりの推進について意見を願います。前回、食に関する情報の提供等内容が出ていたが、意見はあるか。</p> <p>高齢者の健診の実施主体がわかりづらく、制度を活かせていない。高齢者の歯科健診は無料で1回実施できるのか。</p> <p>歯科健診は埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施主体で75歳になった歳に1回無料で実施している。健診と歯科健診で制度が異なる。</p> <p>気をつけていないと分からなくなってしまう。</p> <p>特定健診は、一般の会社に勤めている方は会社で実施している。「小売店で地域健康相談を行った」とあるが具体的にどのようなことを行ったのか。</p> <p>今までは、町会から健康増進センターに依頼があり、体力測定や健康に関する講話をしてきたが、依頼件数が減少してきた。そのため、地域の方が普段生活範囲にしている小売店の一角をお借りして出張版地域健康相談を今年度から実施した。</p> <p>成果はいかがか。</p> <p>好評で、健康増進センターや事業の周知にも繋がった。</p> <p>新しい試みであった。他に意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> |
| <p>議 長<br/>事務局<br/>議 長<br/>委員一同</p>   | <p>(2) 生活習慣病の予防</p> <p>(2) 生活習慣病の予防について意見を願います。生活習慣病予防のための料理教室の参加者はどのくらいか。</p> <p>今年度は、生活習慣病予防の中でも骨粗鬆症予防とテーマを絞って募集し、2回実施して33名、1回15～16名程度であった。平日のためか参加者が少なかったので、次年度は対象を絞って、集客をふやしていきたいと考えている。</p> <p>他に意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>   |
| <p>議 長<br/>事務局<br/>議 長<br/>事務局<br/>議 長<br/>事務局</p>                                  | <p>(3) 各種健診(検診)の実施</p> <p>(3) 各種健診(検診)の実施について意見を願います。国民健康保険以外の方の実施率は把握していないのか。</p> <p>把握していない。</p> <p>国民健康保険の方で、特定健康診査の結果に応じては、健康増進センターで特定保健指導を実施されていると思うが、実施率はいかがか。</p> <p>実施率23%である。実施率を上げる為に、電話や訪問での勧奨をしている。</p> <p>昨年度から医療機関にポスターを貼ったり、今年度はパンフレットを置いてもらったりしている。引き続き医療機関と連携していく。</p> <p>数値目標について意見を願います。</p> <p>44. 2%に訂正をお願いします。</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 議 長  | 数値目標について何か意見はあるか。富士見市は、がん検診の受診率がよい数値であったと思うが、各市町村と比較して、受診率はいかがか。  |
| 事務局  | 胃がん検診の受診率は、他の市町村と比較して低い状況が続いている。今年度から胃の内視鏡検診を実施しているが、思うような伸びがない。原因を調べたところ、富士見市は国民健康保険で実施している人間ドックで、胃カメラや胃のバリウム検査を実施している方が他の市町村と比較して多い事がわかってきた。人間ドックの受診率と合算すると受診している方は少なくない。 |
| 議 長  | 妊婦健診を受診した妊婦は何人ぐらいになるのか。   |
| 事務局  | 1人の妊婦に対して14回受診する事ができる。平成29年度は富士見市に妊娠届を出した方が922人いるので、転出入で若干人が移動したりするが、約900人受診している。   |
| 議 長  | 他に意見はあるか。   |
| 委員一同 | (意見なし)  |
|      | 第4節 こころの健康  |
|      | 1 こころの健康についての理解促進   |
| 議 長  | 第4節こころの健康1こころの健康についての理解促進について意見をお願いする。最近はどのような状況か。  |
| 事務局  | 今年度は障がい福祉課で、自殺に追い込まれないような地域づくりを目指して自殺予防対策計画を作成中である。相談については、引き続き受けており、こころの体温計をホームページに掲載し、利用者は増えている。  |
| 議 長  | 相談は、増えているのか。  |
| 事務局  | 日々、多種多様な相談は増えている。   |
| 議 長  | 他に意見はあるか。   |
| 委員一同 | (意見なし)  |
|      | 2 児童生徒のこころの悩みや不安に対する相談の充実   |
| 議 長  | 2 児童生徒のこころの悩みや不安に対する相談の充実について意見をお願いする。  |
| 委 員  | スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの富士見市の配置状況について、教えていただきたい。   |
| 委 員  | ソーシャルワーカーは教育相談室に配置されていて、必要に応じて学校に来てもらっている。巡回はない。  |
| 委 員  | 何かがあったら行くという体制なのか。  |
| 委 員  | そのとおりである。   |
| 委 員  | スクールカウンセラーは、中学校ごとに非常勤でいるのか。   |
| 委 員  | そのとおりである。本校では、中学校と連携して、定期的に学期に1回、面談という形で活用している。大変ありがたいと思っている。   |
| 委 員  | 今、県内でもいじめによる自殺や裁判があるが、富士見市はそういう事例は無   |

|            |  |
|------------|--|
| 委員         | いのか。また、自殺未遂やいじめによるもので何か問題に上がる事はあるか。  |
| 委員         | ない。  |
| 委員         | 県内でも事例が多く、県の教育委員会は大変であるので、富士見市にも相談体制があるとよい。  |
| 議長         | 朝霞保健所ではいかがか。   |
| 委員         | 子どもの心の健康相談室がある。母子の担当が家庭状況について相談にのっている。児童精神の観点から臨床心理士が月1回予約して話す機会を作る事を行っている。深刻なケースもあり、市町村の保健センターでは対応が困難な状況もある。                                      |
| 議長<br>委員一同 | 他に意見はあるか。<br>(意見なし)  |
| 議長         | 3 成人・高齢者の相談及び支援の充実   |
| 委員         | 3 成人・高齢者の相談及び支援の充実について意見をお願いします。社会福祉協議会の状況を伺いたい。   |
| 委員         | 以前は、5つの日常生活圏域の地域包括支援センターが相談内容によってサービスが受けられるよう、取りまとめ役を担っていた。2015年の介護保険法の改正により、社会福祉協議会で地域生活支援コーディネーターを立ち上げ、要介護状態でないと判定された方に対しても支援をし、必要なサービスに結びつけている。 |
| 議長<br>委員一同 | 他に意見はあるか。<br>(意見なし)  |
| 議長         | 第5節 歯と口腔の健康  |
| 委員         | 1 妊産婦と胎児の口腔管理の推進   |
| 事務局        | 第5節歯と口腔の健康 1 妊産婦と胎児の口腔管理の推進について意見をお願いします。  |
| 委員         | 妊産婦では、妊産婦歯科検診を始めており、無料なので受診率は高い。産後1年以内まで受診が可能である。実績はあるか。   |
| 事務局        | 平成29年度は94人が受診されている。  |
| 委員         | 全妊婦の10分の1程度しか受診していない。あまり知られていないのか。妊婦健診の際に周知はしているのか。  |
| 事務局        | 妊娠届を提出する際に配布している書類の中に、目立つ明るい黄色でチラシを封入している。また、市内の産婦人科にポスターの掲示依頼を行った。  |
| 議長<br>委員一同 | 他に意見はあるか。<br>(意見なし)  |
| 議長         | 2 乳幼児のむし歯予防と口腔機能発達支援の推進  |
| 委員         | 2 乳幼児のむし歯予防と口腔機能発達支援の推進について意見をお願いします。  |

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 委員                               | 「施策・事業の展開」No80「フッ化物の利用を促進します」についてだが、3歳児健診時にフッ化物歯面塗布を開始してから約3年経過した。希望者によって実施しているが、かなりの子どもがフッ化物紙面塗布を受けている。  |
| 議長<br>事務局                        | 受けている人数は全受診者の半数くらいか。<br>3歳児検診当日に7割強が受けている。かかりつけ医で実施している件数を合算すると9割近くの方がフッ化物塗布を受けている。   |
| 委員<br>議長<br>委員一同                 | 好評なので良いと感じている。<br>他に意見はあるか。<br>(意見なし)   |
| 議長<br>委員                         | 3 児童生徒の歯と口腔の健康づくり<br>3歳児健診の歯と口腔の健康づくりについて意見をお願いします。<br>「施策・事業の展開」No81「定期的な歯科健診と保健指導を行います」についてだが、現在、全学年対象ではないが、小学校全校と特別支援学校において、歯磨き教室を実施している。平成31年度から全中学校で実施可能になった。このことにより、市内小中学校全校で歯磨き教室を実施できることになる。市内で転校した際など、教室を受けられない恐れがあるため、教室を実施する学年を統一する事を教育委員会で打ち合わせして頂こうと思っている。No82「給食後の歯みがきやブクブクうがいに取り組みます」について、給食後の歯磨きの実施も、全校目指して、推進していきたい。 |
| 委員<br>委員<br>議長<br>委員<br>議長<br>委員 | 給食後の歯みがきを実施していない学校もあるのか。<br>水道の数が少ないという理由で、給食後の歯みがきが難しい学校もある。<br>歯みがきの歌は、使用しているのか。<br>使用している学校もある。<br>むし歯のある子どもは減少傾向にあるようだが、いかがか。<br>むし歯の全く経験のない子どもは全健康診断受診児童、生徒のうち、7割を超えている。むし歯を放置したままで、口腔崩壊に至る子どもも増えており、2極化しているため、調査している。   |
| 委員<br>委員                         | 歯肉炎はいかがか。<br>歯肉炎は判断基準が難しいが、以前は、中学生からなる事が多かったのだが、低年齢化している傾向はある。先述の歯みがき教室も、学年によって、むし歯から歯周病予防へと指導変えながら行っている。   |
| 委員<br>委員                         | フッ化物洗口を実施している学校は、どのように実施しているか。<br>薬剤師が分けたフッ化物を養護教諭が溶いて洗口液にして教室で使用している。実施する時間を作る事が難しい事や、希望しない家庭もあるので全校で実施するとなると難しい。  |
| 議長<br>委員                         | 歯のためには、フッ化物洗口は実施したほうがよいか。<br>市販の歯みがき粉にフッ化物は、ほとんど入っている。フッ化物自体は良いが、実施が難しく、予算の問題もある。1人当たり年間約150円はかかる。  |

|  |  |
|--|--|
| <p>議 長<br/>委員一同</p>                    | <p>埼玉県歯科医師会で推進して5年ほど経過しているが、予算がないことも多く、県内で実施している所は20%である。3歳のフッ化物歯面塗布実施は、9割以上なので、継続してできるようにしていければと考えている。</p> <p>他に意見はあるか。<br/>(意見なし)</p>  |
| <p>議 長<br/>委 員</p>                     | <p>4 成人の歯科疾患予防の推進</p> <p>4 成人の歯科疾患予防の推進について意見をお願いします。成人歯科健診の対象を教えてください。また、周知はどのようにしているのか。</p> <p>定期的に通院している方は除外して、通院していない市民の方が対象となる。また、以前は無料だったが、500円の自己負担がかかるようになり、受診者が減少しているのではないかと。</p>   |
| <p>委 員</p>                             | <p>歯科医師会主催の歯と口の健康フェアや健康まつりなどに参加して、周知はしている。「施策・事業の展開」No87「8020運動の普及を通して、成人期の口腔状態に応じた正しい歯科口腔保健の知識を普及します」についてだが、毎年6月第1日曜日にピアザ☆ふじみにて歯と口の健康フェアを実施している。そこで、防衛医科大学と日本大学の先生に協力いただき、口腔がん検診も実施している。平成28年度は68人、平成29年度は122人が受診した。受診者は倍増しているので、今後も周知していきたい。</p> |
| <p>事務局</p>                             | <p>「施策・事業の展開」No85「定期的な歯科健診についての普及を行い、歯科健診受診を促進する環境づくりに取り組みます」についてだが、成人歯科健診の受診者が360人とあるが、353人に訂正をお願いしたい。</p>  |
| <p>議 長<br/>委員一同</p>                    | <p>他に意見はあるか。<br/>(意見なし)</p>  |
| <p>議 長</p>                             | <p>5 高齢者の口腔機能保持支援の推進</p> <p>5 高齢者の口腔機能保持支援の推進について意見をお願いします。8020運動の状況はいかがか。</p>   |
| <p>委 員</p>                             | <p>8020運動は、80歳で20本の歯を残そうという運動で、開始してから30年経過しており、実施率は50%を超えている。若い時からの取り組みの効果が数字に繋がっている。長寿になってきているので、9020運動としても良いのではないかと。</p>   |
| <p>議 長<br/>委員一同</p>                    | <p>歯科は成績が良い。他に意見はあるか。<br/>(意見なし)</p>   |
| <p>議 長<br/>委員一同</p>                    | <p>数値目標について意見をお願いします。<br/>(意見なし)</p>   |
| <p>(2) 富士見市の健康づくりと食育の推進について (意見交換)</p> |  |
| <p>議 長</p>                             | <p>先程意見をいただいた健康ライフ☆ふじみの取組状況を踏まえ、委員の皆様が</p>   |

|    |   |
|----|---|
| 委員 | 各方面・各分野において取り組まれていることや健康づくり及び食育推進の状況について感じられていることなどについて、意見交換を行いたい。  |
| 委員 | 健康づくりに関して非常に良い取り組みができています。ぜひ今後、歯科口腔保健と合わせて推進していただきたい。   |
| 委員 | 平成29年度に本校の5年生が、学校で野菜を栽培し、野菜を好きになるようなメニューを考え、給食センターで調理をしてもらうことを実施した。平成30年度は、そのメニューを献立表に載せて頂き、取り組みを市内に広げていく事ができた。今後も食育や歯科口腔保健推進に取り組んでいきたい。  |
| 委員 | 食育に関しては、アンケート等で朝食の状況を確認したところ、メニューの広がりが少ないという意見があったため、学校保健委員会で、手作りのふりかけを作るという企画を実施したのだが、集まったのはPTA役員だけであった。市でも調理実習を企画しても人が集まらないとあったが、どうやって人を集めるか、関心を集めるか、周知していくかが大変だと感じた。関心を持ってもらう方法として、小学校の児童が考案したレシピを給食で作ってもらうのは良いと思う。食育をどう推進していくかは課題である。 |
| 委員 | 毎年、お米作りや野菜作りの体験を通して、地産地消を知っていただいている。地域の農産物を知ってもらい、野菜を食べて健康になるという事で役に立てればと思っている。   |
| 委員 | 食育、生活習慣病は歯科と関係があるので、取り組んでいきたいと思う。   |
| 委員 | 食育の推進については、関係機関の方が考えてくれているが、子育て世代の関心をどうやったら集められるのかを知ることが必要。自分も同じ世代なので、反省する点がある。   |
| 委員 | 健康ライフ☆ふじみの今後の方向性についての評価で、法改正で廃止になっているものが1つあるが、縮小はなく、ほとんどが継続、拡大であった。計画は、理解されていると思う。また、健康は継続して、長期的に取り組まなければならないものなので、協力を得ながら少しでも推進できるよう取り組んでいきたい。   |
| 委員 | 食育については、参加者が集まらないなどといった課題があるが、様々な市民がいるため、一度に課題を解決する事は難しいため、長期的に取り組むことが大切である。  |
| 委員 | キーワードは、広報活動をいかにするかである。富士見市の事業は県内に誇る事業である。どうやって市民に広く周知するかが課題である。<br>学童や幼稚園などは、やはり教育だと思う。管理と教育の一体化によって上手く機能するので、褒めて育てるというような教育の方法を実施することで富士見市の事業が躍進し、良い展開を生む。   |
| 議長 | 貴重なご意見ありがとうございました。委員の皆様からいただいた意見を行政や関係機関に還元し、さらに推進していきたい。   |

(3) 今後の予定について



|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p>議 長<br/>事務局</p>          | <p>今後の予定について、事務局からお願いしたい。<br/>市の健康づくりをすすめるための計画として健康増進計画・食育推進計画と<br/>歯科口腔保健推進計画がある。2本の計画に分かれてはいたが、共通の目的<br/>をもつ計画として一体的な進行管理に努めてきた。両計画が平成32年度に<br/>中間評価見直しの時期を迎える。この時機をとらえ、2つの計画と審議会を<br/>統合し、より相互性を高め、一体的に進行管理することで市民にとってわか<br/>りやすく、実践しやすい計画にしたいと考えている。今後ともご協力をお願<br/>いする。</p> |
| <p>委 員</p>                  | <p>健康づくりの中に健康増進と食育、歯科口腔保健すべてを包括して進めてい<br/>くという事でよいと思うが、健康増進計画と歯科口腔保健推進計画は計画の<br/>詳細さが異なる。それを一つにすることで歯科口腔保健推進計画の評価指標<br/>等が減る事がないようにしていただきたい。また、担当課が会議に出席し、<br/>委員からの質問に対応していただきたい。</p>   |
| <p>事務局<br/>議 長<br/>委員一同</p> | <p>他課の審議会でも本審議会と同様な形で実施している。検討させていただく。<br/>他に意見はあるか。<br/>(意見なし)</p>  |
| <p>議 長<br/>委 員</p>          | <p>閉会の言葉をお願いします。<br/>これをもって、平成30年度 第2回富士見市健康づくり審議会を閉会する。<br/>ありがとうございました。</p>  |
| <p>4 その他</p>                | <p>(特になし)</p>  |
| <p>5 閉会</p>                 |  |